



Q 今後のエンディング事業への取り組みは

みず たに ゆきの の
水谷幸乃(文責)



A 湯沢町としてどのような取り組みができるか調査検討する

答弁 学園内だけでなく外で多くの人・モノ・コトとの触れ合いを大切に。人を思うことができる人は自分を大切にできる人。湯沢学園に通うことがウェルビー

質問 園の教育を伺う。
答弁 学校評価を通じ、地域・保護者の意見を取り入れながら対応を考える。ウェルビーイングの観点からの今後の湯沢学園の教育を伺う。

質問 課題に対する対策はどうか。
答弁 湯沢町のブランドデザインをPRし、地域全体を巻き込むことが必要である。ホームページへ、ブランドデザインの掲載がないが予定はあるか。

答弁 現在活動の1つとして教育フェスティバルを行っている。今後もさまざまな意見を聞きながら活動を検討していきたい。ホームページは確認し、アップしていく。

質問 湯沢町のブランドデザインをPRし、地域全体を巻き込むことが必要である。ホームページへ、ブランドデザインの掲載がないが予定はあるか。
答弁 可能な限り直ぐに対応している。行政から地域連携室への問い合わせもあり、連携を図っている。

A

全体的に全国平均を上回る結果である。教育基盤を確立しその上で柔軟な対応が必要

Q

学力調査におけるウェルビーイングの指標調査の評価と課題はあるか。

質問 独居や高齢者の把握の方法は。
答弁 人数は住民基本台帳で把握。地区担当保健師やその他検診事業、民生委員や社会福祉協議会、地域住民などを通して把握している。

質問 身元確認や身元引受人の問い合わせの実例はあるか。
答弁 地域連携室からの問い合わせはあった。

質問 問い合わせ時に迅速に情報提供できる状況にあるか。
答弁 問い合わせ時に迅速に情報提供できる状況にある。



令和5年ふれあい福祉健康フェスティバル



Q

福祉フェスティバルを活用し就職相談や仕事のPRなどの取り組みはいかがか

A

就職相談は難しいがPRという点は大切である
関係団体と協議して検討する

質問 町全体で介護・福祉に興味関心を持てる取り組みは考えていないか。
答弁 新たな取り組みは考えていない。検討する。

質問 町全体で介護・福祉に興味関心を持てる取り組みは考えていないか。
答弁 町全体で介護・福祉に興味関心を持てる取り組みは考えていないか。

質問 今年度湯沢学園の生徒もブースも出店した。
答弁 楽しみながらボランティア団体の活動を知り、興味関心を持つ場として定着していると考えている。

質問 町全として福祉フェスティバルのあり方をどのように捉えているか。
答弁 楽しみながらボランティア団体の活動を知り、興味関心を持つ場として定着していると考えている。